

平成31年度和歌山県立医科大学保健看護学部入学者選抜要項

和歌山県立医科大学保健看護学部の教育目標と入学者受入方針（アドミッションポリシー）

和歌山県立医科大学保健看護学部には、大学の理念に基づき、次のような教育目標と入学者受入方針（アドミッションポリシー）があります。

■ 保健看護学部の教育目標

1. 生命の尊厳と幅広い教養を基盤にした豊かな人間性と高邁な倫理観の涵養
2. 個人を尊重し、全人的理解と信頼関係を築く優れたコミュニケーション能力の育成
3. 科学的思考力、高度な専門的知識と技術に基づいた実践力と創造力の育成
4. 種々の関連職種とチームワークができる協調性に富む人材の育成
5. 生涯にわたり自己啓発し、社会の多様なニーズに対応できる人材の育成

■ 保健看護学部は次のような学生を求めています。

1. 科学的探究心と豊かな人間性・高邁な倫理観を希求する人

保健看護学を志す人には旺盛な科学的探究心とともに、深い人間性と高い倫理観が必要です。豊かな感性と高邁な人間性をつねに求め、利他の精神を忘れることなく社会と深く関わり、高い倫理観を磨こうと努める人を求めます。

2. 保健看護学を修得するための幅広い能力を有する人

保健看護学の修得には自然科学のみならず、人文科学と社会科学の修得も必要です。そのためには、高等学校で学習する全科目にわたって基礎的な学力を身につけていなければなりません。それに立脚し、自然・人間・社会に関する幅広い理解と知識を獲得しようとする向学心と問題解決能力を持つ人を求めます。

3. コミュニケーション能力と指導力を備えた協調性の高い人

卒業後は医療チームの一員として、患者やご家族と良好な人間関係を築く能力が必要になります。医療人として高邁な理念を堅持するとともに、他者との協調関係を築くために、指導力を発揮できる人を求めます。

4. 地域医療に関心があり、国際的視野を希求する人

本学は県民の医療を支えるとともに、国際的にも活躍できる医療人を育成します。人間への深い関心に根ざして、地域医療への奉仕に励むとともに地球規模で医療を俯瞰し国際社会で活躍する医療人になることをめざす人を求めます。

5. 生涯にわたって自立と自律をめざす人

学修の機会を与えられたことに対して将来、社会に貢献するという働き方を志し、生涯にわたって自立・自律しながら自己研鑽を積むことをめざす人を求めます。

平成31年度入学者選抜試験は、一般入学試験（前期・後期日程）、推薦入学試験を実施します。一般入学試験は大学入試センター試験を利用します。推薦入学試験は大学入試センター試験を利用しません。

各試験の概要は、次のとおりです。

1. 一般入学試験

(1) 出願資格

平成31年度大学入試センター試験において、本学が指定した5教科・5科目または6科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者

①高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者

②通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月修了見込みの者

③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成31年3月31日までにこれに該当する見込みの者

*上記出願資格③に該当する者で同条第7号の規定により出願しようとする者は、事前に「個別の入学資格審査」を受ける必要があるため、本学保健看護学部事務室に問い合わせのうえ、平成30年8月6日（月）から8月17日（金）の間に資格認定の申請を行うこと。

(2) 募集人員、出願期間、試験日及び選抜方法

		前 期 日 程	後 期 日 程
募集人員		40名*	10名
出願期間		平成31年1月28日（月）～2月6日（水）	
試験日		平成31年2月25日（月）	平成31年3月12日（火）
選 抜 方 法	第一段階選抜	大学入試センター試験（5教科・5科目または6科目） 国語（「国語」）必須 地理歴史（「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」） 公民（「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」） 数学（「数学I・数学A」）必須 理科（「物理基礎」、「生物基礎」、「化学基礎」）から2科目 または （「物理」、「生物」、「化学」）から1科目 外国語（「英語」リスニングテストを含む）必須	
	第二段階選抜	小論文 面接	
方		志願者が募集人員の5倍を超えた場合は、大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行う。	志願者が募集人員の10倍を超えた場合は、大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行う。
法		総合問題 面接	

(注) 前期40名*は推薦入学者の数によって増減する。

(注) 「地理歴史」、「公民」及び「理科（基礎を付さない科目）」で2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を採用する。

(注) 「理科（基礎を付した科目）」と「理科（基礎を付さない科目）」を両方選択した場合は、いずれか高得点の成績を採用する。

(3) その他留意事項

①本学に入学を志願する者で身体に障害（学校教育法施行令第22条の3に定める身体障害の程度）があり、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、平成30年12月21日（金）までに本学に申し出ること。

②保健師助産師看護師法第9条の規定に該当するおそれがある場合には、健康診断書の提出を求めると本学で精密検査を実施することがある。

2. 推薦入学試験

(1) 出願資格

次の要件をすべて満たし、高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）長が責任をもって推薦できる者。

ただし、推薦できるのは、1 高等学校につき 5 名以内とする。

①和歌山県内の高等学校を平成 31 年 3 月卒業見込みの者（ただし、和歌山県外の高等学校にあっても出願時に扶養義務者が引き続き 3 年以上和歌山県内に居住している者は推薦できる）。

②調査書の全体の評定平均値が 4.0 以上である者。

③保健看護学に深い関心を持ち、卒業後、この分野に積極的に携わっていかうとする意欲を有する者。

④合格した場合、本学に必ず入学することを確約できる者。

高等学校以外の学校に在学する者で、上記と同等の出願資格を有すると本学が事前に認めた者については、出願することができる。出願しようとする者は平成 30 年 9 月 27 日（木）までに本学に申し出ること。

(2) 募集人員、出願期間、試験日及び選抜方法

	推 薦
募集人員	30 名程度
出願期間	平成 30 年 11 月 1 日（木）～ 11 月 5 日（月）
試験日	平成 30 年 11 月 24 日（土）
選抜方法	大学入試センター試験を免除し、総合問題及び面接を課す。

(3) その他留意事項

①本学に入学を志願する者で身体に障害（学校教育法施行令第 22 条の 3 に定める身体障害の程度）があり、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、平成 30 年 9 月 27 日（木）までに本学に申し出ること。

②保健師助産師看護師法第 9 条の規定に該当するおそれがある場合には、健康診断書の提出を求めることや本学で精密検査を実施することがある。

3. 募集要項の請求方法

本学へ直接請求する場合

封筒の表に希望する募集要項名を朱書きし、送料分の切手（一般 250 円、推薦 205 円）を貼付し宛先を明記した角形 2 号の封筒を返信用封筒として、下記まで郵送して下さい。（募集要項は一般 11 月中旬、推薦 9 月上旬から配布の予定。）

<請求先> 〒641-0011 和歌山市三葛 580
和歌山県立医科大学保健看護学部事務室
Tel 073-446-6700

平成31年度和歌山県立医科大学入学者選抜の実施教科・科目等について

様式1

学部・学科等名 及び入学定員等 (平成30年度 志願倍率)	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他 の選抜 方法等
		教科	科目名等	教科 等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	配点 合計	
保健看護学部 保健看護学科 80人 前期40* 後期10 その他30程度 (2.5)	前期 2月25 日(月)	国語	「国語」 「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	その他	小論文 面接	志願者が募集人員の5倍 を超えた場合、大学入 試センター試験の成績 により、第1段階選抜を 行う。	センター試験	200	●100	●100	200	100	200			800	推薦 追加合格
		公民					「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理、政治・経済」	個別学力検査等									
	数学 理科	「数学I・数学A」 「物理基礎」, 「生物基礎」, 「化学基礎」 から2 または 「物理」, 「生物」, 「化学」から1	計	200	●100	●100	200	100	200			200	1000				
	外国語	「英語」◆ 〔5教科・5科目または6科目〕															
後期 3月12 日(火)	後期 3月12 日(火)	国語	「国語」 「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	その他	総合問題 面接	志願者が募集人員の10 倍を超えた場合、大学 入試センター試験の成 績により、第1段階選抜 を行う。	センター試験	200	●100	●100	200	100	200			800	
		公民					「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理、政治・経済」	個別学力検査等							400	400	
	数学 理科	「数学I・数学A」 「物理基礎」, 「生物基礎」, 「化学基礎」 から2 または 「物理」, 「生物」, 「化学」から1	計	200	●100	●100	200	100	200	400		1200					
	外国語	「英語」◆ 〔5教科・5科目または6科目〕															

〔学部学科等名及び入学定員等〕欄

1. 前期40名*は、推薦入学者の数によって増減する。

〔大学入試センター試験の利用教科・科目名〕欄

1. 「地理歴史」, 「公民」及び「理科(基礎を付さない科目)」で2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を採用する。
2. 「理科(基礎を付した科目)」と「理科(基礎を付さない科目)」を両方選択した場合は、いずれか高得点の成績を採用する。
3. 外国語の英語◆については、リスニングテストを含む。

〔大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等〕欄

1. 配点に●印を付してある教科は選択教科を表す。
2. 大学入試センター試験の英語の配点は、筆記試験(200点満点)及びリスニングテスト(50点満点)の合計得点(250点満点)を圧縮し、200点満点とする。また、数学の配点は、得点(100点満点)を2倍し、200点満点とする。

学部・学科	募集人員	推薦要件	選考方法	備考
保健看護学部 保健看護学科	30名程度	<p>次のいずれにも該当し、高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)長が責任を持って推薦できる者。</p> <p>ただし、推薦できるのは、1高等学校につき5名以内とする。</p> <p>(1)和歌山県内の高等学校を平成31年3月卒業見込みの者(ただし、和歌山県外の高等学校にあっても、出願時に扶養義務者が引き続き3年以上和歌山県内に居住している者は推薦できる)。</p> <p>(2)調査書の全体の評定平均値が4.0以上である者。</p> <p>(3)保健看護学に深い関心を持ち、卒業後、この分野に積極的に携わっていこうとする意欲を有する者。</p> <p>(4)合格した場合、本学に必ず入学することを確約できる者。</p> <p>高等学校以外の学校に在学する者で、上記と同等の出願資格を有すると本学が事前に認めた者については、出願することができる。</p> <p>出願しようとする者は、平成30年9月27日(木)までに本学に申し出ること。</p>	<p>大学入試センター試験を免除し、総合問題、面接、高等学校長の推薦書、調査書、受験生の記述した「自己を語る」等により総合的に評価し、合格者を決定する。</p>	<p>出願期間 平成30年11月1日(木) ～11月5日(月)(必着)</p> <p>選抜期日 平成30年11月24日(土)</p> <p>合格発表 平成30年12月12日(水)</p>